

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「クラブと地区の
変革をめざそう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「しなやかな変化で
奉仕を高めましょう」



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度

国際ロータリー会長 **イアンH.S.ライズリー**
2560地区ガバナー **新保 清久**
高田ロータリー会長 **橋詰 敏一**
幹事 **田中 正人**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
箕輪 賢一 堀井 靖功 渡邊 隆 山田 守
小池 猛紀

第43回例会 ■ 6月1日(金)

No.43

直前会長挨拶 ● 本山 秀樹



今日は米沢上杉ロータリークラブから小泉会長、徳重会長エレクト、蓼沼次期幹事からお越しいただいています。

さて、高田公園を散歩してみますと日に日にハスの葉が大きくなり湖面一面を覆うようになってきました。毎年変わることの無い季節と自然の営みに驚き、また一歳年取ったことを実感しました。

6月はロータリー親睦月間です。ロータリーにおける会員同士の友情、友愛を深めるための親睦活動を推進することが奨励されています。ロータリーの原点は「親睦と奉仕」とよく言われます。お酒の場だけでなく、例会など日頃から会員同士の友情、親睦を深め奉仕活動に努めたいものです。

さて、先日神戸、大阪に行く機会がありました。訪日外国人客が多いと聞いていましたが、神戸の異人街、大阪の道頓堀などは外国人観光客ばかりでインバウンドを肌で感じてきました。昨年、インバウンドで訪れた訪日客は2,870万人で前年より470万人増えているそうです。その経済的効果も4兆4千億の消費をもたらし日本経済を下支えしているようです。余談ですが、旅行の中に吉本興業のなんばグランド花月があり楽しんできました。最近テレビでは余り見なくなった「おさむちゃ

んで～す」の「ザ・ほんち」などベテランの漫才師なども出ていて久しぶりに腹の底から笑ってきました。“笑い”が免疫力をアップし体を健康にするとも言われています。たまには、大きな声で笑いましょう。

出席報告

出席率 96.49%

ビジター

小泉雅行君 (米沢上杉 RC 会長)
徳重和浩様 (〃 会長エレクト)
蓼沼一之様 (〃 次期幹事)

メイクアップ

橋詰敏一君・田中正人君・牧野章一君・佐藤教彦君 (5/29 第7分区会長幹事引継会)

お客様スピーチ



小泉雅行君 (米沢上杉 RC 会長)
55周年式典の御礼

委員会報告

ニコニコBOX委員会

会長——米沢上杉ロータリークラブ小泉会長様

一行の来訪に感謝申し上げます。55周年式典では心よりの歓待をいただき改めてお礼申し上げます。本日は欠席で失礼いたしました。

会員インフォメーション



進藤 博君——退会の挨拶

小池猛紀君——上越タイムス広告会講演会のご案内
内（6/8 17:30～デュオ・セレソにて）

幹事報告

配布物：週報No.42・ロータリーの友6月号・第2回会員満足度アンケート結果・米山奨学寄付袋

回 覧：新潟県立看護大学×上越教育大学連携公開講座「長寿の秘訣！」

報 告：米山奨学委員会 寄付のお願い

卓 話

新水族博物館の開業に向けて

～上越市立水族博物館 うみがたりが目指すもの～

上越市立水族博物館 指定管理者 株横浜八景島 館長 櫻 健太郎 様



2018年6月26日にいよいよ「上越市立水族博物館 うみがたり」が開館いたします。

地元にとだけ新しい水族館を作る事を目的とするのではなく、新しい施設に求められているミッションとして

①愛着と誇りを持てる施設を作ること ②町を元気にする集客施設に育てる この2点に関して村山上越市長からも実行・実現するよう基本計画書が出されております。

【愛着と誇りを持てる施設】となるためには、多くの方々に訪れて頂ける施設となること・地元市民の皆様が誇れる水族館であること →『全国に知られる水族館となること』全国に知ってもらう事でより愛着や誇りは増していくもので有ると思われれます。

その為には、全国的なニュースとなる商品づくりに取り組み、お客様を飽きさせないことが必要です。

シーズン別の企画を定期的で開催し、常に新しい物を地元から発信する。又、指定管理者である株八景島のスケールメリットを活用し、横浜・品川・仙台の各水族館を情報発信場としても活用し「うみがたり」を県外の各地に広めていくことで全国区に成長させることが可能となります。

【まちを元気にする集客施設】となるためには、

立地条件から見て上越では地域の力を活用し「うみがたり」を目的に訪れた方々を市内各所に回遊させ市内全体の活性化を目指すべきである。その為、館内に市内各所の紹介ブースを設置したり、水族館を核とした地域活性化検討会の設置等が必要となります。

運営サイドとしても、お客様の回遊作策は非常に重要！！水族館の滞在時間は1.5～2時間程度であり、遠方から集客する場合に水族館だけでは物足りないのである。したがって「うみがたり」+ α の楽しみが絶対必要です、水族館の前後で訪れたい街の魅力を発信しながら、更には上越でしか味わえない・楽しめない 観光資源をもっともっと活かし伝える事がポイントとなります。

ただし、現状では上越の沢山の観光資源は活かされておらず（お酒・お米・鮮魚・高田城址公園・上杉謙信公・・・etc）もったいない環境にあります。地元の人々が普段から見慣れた資源も、外からの観光客にとっては非常に魅力がありますので、私どもが持つノウハウと上越市の魅力を mixさせることでまちを元気にする施設を作り上げ、まちと一緒に元気になりたいと考えております。ロータリアンの皆様にも是非とも『元気になる施設』に是非ともご協力をお願いしたいと思います。

本日は最後までお聞きいただきありがとうございました。